

(様式第1号別紙1)

介護職員初任者研修課程カリキュラム表

科(科目)名	内 容	実施計画	科目番号
(1)職務の理解 (6時間)	①多様なサービスの理解	<p>&lt;講義&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 介護問題の背景と介護福祉士制度</li> <li>* 介護保険サービス (居宅・施設)</li> <li>* 介護保険外サービス</li> </ul>	(1)－①
	②介護職の仕事内容や働く現場の理解	<p>&lt;講義&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 居宅、施設の多様な働く現場におけるそれぞれの仕事内容</li> <li>* 居宅、施設の実際のサービス提供の現場の具体的なイメージ</li> </ul> <p>&lt;教材&gt; DVD教材</p>	(1)－②
(2)介護における尊厳の保持・自立支援 (9時間)	①人間と尊厳を支える介護	<p>&lt;講義&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 人権と尊厳を支える介護               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人権と尊厳の保持 人権の考え方</li> <li>・ QOL (Quality of Life) の考え方 QOLの考え方 ADL (日常生活動作) からQOL (生活・人生の質) へ</li> <li>・ ノーマライゼーション ノーマライゼーションの考え方</li> <li>・ 虐待防止、身体的拘束禁止 高齢者虐待禁止法 身体拘束禁止</li> <li>・ 個人の権利を守る制度の概要 成年後見制度 日常生活自立支援事業</li> </ul> </li> </ul> <p>&lt;教材&gt; DVD教材</p>	(2)－①
	②自立に向けた介護	<p>&lt;講義&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 自立支援               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自立支援とは</li> <li>・ お世話の介護からの脱却</li> <li>・ 残存機能の活用</li> <li>・ 本人の自己選択・自己決定を促し尊重する</li> <li>・ こころの自立</li> <li>・ 一人ひとりを個別的に理解し、支援していく</li> </ul> </li> </ul> <p>介護予防</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護予防の視点</li> </ul> <p>&lt;教材&gt; DVD教材</p>	(2)－②
(3)介護の基本 (6時間)	①介護職の役割、専門性と多職種との連携	<p>&lt;講義&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 介護環境の特徴と理解               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者生活の拠点</li> <li>・ 少子高齢者の介護システム</li> <li>・ 利用者を地域で支える (地域包括ケアの方向性)</li> </ul> </li> </ul>	(3)－①

		介護の専門性 ・介護の理念 ・介護の対象者と目的・定義 ・介護実践の原則 介護に関わる職種 ・多職種連携の意義と目的 <演習>小グループ討議=事例から介護について考える	
	②介護職の職業倫理	<講義> ＊職業倫理 ・倫理観の必要性 ・介護職としての社会的責任 <演習> グループ討議=具体的事例から倫理について考える	(3)－②
	③介護における安全の確保とリスクマネジメント	<講義> ＊介護職における安全の確保とリスクマネジメント ・労働における安全の確保 ・事故予防 ・安全対策 ・感染対策 <演習>グループ討議=事例を通してリスクマネジメントを考える	(3)－③
	④介護職の安全	<講義> ＊介護職員のこころの健康管理 ・介護職の健康管理が介護の質に影響する ・ストレスマネジメント ＊介護職員のからだの健康管理 ・腰痛の予防に関する知識	(3)－④
(4) 介護・福祉サービスの理解と医療との連携  (9時間)	①介護保険制度	<講義> ＊介護保険制度創設の背景と目的 ＊介護保険制度の動向 ＊介護保険のしくみ ・保険システム、要介護認定、ケアマネジメント ・介護報酬、財源、組織、その他 ＊介護サービスの分類と種類 ＊保険給付対象外の事業	(4)－①
	②医療との連携とリハビリテーション	<講義> ＊介護における医療と福祉の連携 ＊介護職と医行為 リハビリテーション	(4)－②
	③障害者総合支援制度およびその他制度	<講義> ＊障害の概念（障害者支援法、障害者各法とICF） ＊障がい者総合支援制度の仕組みの理解（申請から支給の流れ） ＊権利擁護について : 個人情報保護法について	(4)－③

(5) 介護におけるコミュニケーション技術 (6時間)	① 介護におけるコミュニケーション	<p>&lt;講義&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 介護におけるコミュニケーションの意義、目的役割 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護職におけるコミュニケーションの基本傾聴、共感、受容</li> </ul> </li> <li>* コミュニケーション技法、道具を用いた言語的コミュニケーション <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 言語的コミュニケーションの特徴</li> <li>・ 非言語的コミュニケーション特徴</li> </ul> </li> <li>* 利用者・家族とのコミュニケーションの実際 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者の思いを把握する</li> <li>・ 家族の思いを把握する</li> <li>・ 利用者の思いを家族が理解する支援にむけて</li> <li>・ 利用者や家族の思いが一致する支援にむけて</li> </ul> </li> <li>* 利用者の状況・状態に応じたコミュニケーションの実際 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 聴覚・言語障がい者とのコミュニケーション</li> <li>・ 難聴者とのコミュニケーション</li> <li>・ 視覚障がい者のある人とのコミュニケーション</li> <li>・ 失語症のある人とのコミュニケーション</li> <li>・ 認知症のある人とのコミュニケーション</li> <li>・ 知的障害のある人とのコミュニケーション</li> <li>・ 精神障害のある人とのコミュニケーション</li> </ul> </li> </ul> <p>&lt;演習&gt; グループによるロールプレイング 題「介護員と利用者的一天」</p>	(5) - ①
	② 介護におけるチームのコミュニケーション	<p>&lt;講義&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 記録による情報の共有化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 記録の意義・目的</li> <li>・ 介護に関する記録の種類</li> <li>・ 記録の書き方と留意点</li> </ul> </li> <li>* 介護サービスにおける報告、連絡、相談 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 意義と目的</li> <li>・ 報告、連絡、相談の留意点</li> </ul> </li> <li>* コミュニケーションを促す環境 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ケアカンファレンス、事例検討</li> <li>・ サービス担当者会議</li> </ul> </li> </ul>	(5) - ②
(6) 老化の理解 (6時間)	① 老化に伴うこころとからだの変化と日常生活	<p>&lt;講義&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 老化に伴うこころとからだの変化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 老化によるこころとからだの変化と観察のポイント</li> </ul> </li> <li>* 老化に伴うこころとからだと日常生活</li> </ul>	(6) - ①
	② 高齢者と健康	<p>&lt;講義&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 高齢者に多い病気と日常生活上の留意点 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 老化に伴う疾患</li> <li>・ 代表的な生活習慣病とその他の生活習慣病</li> </ul> </li> </ul>	(6) - ②
(7) 認知症の理解	① 認知症を取り巻く状況	<p>&lt;講義&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 認知症ケアの理念</li> </ul>	(7) - ①

(6時間)	②医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	<講義> * 認知症の概念 * 認知症による障害 * 認知症の原因となる主な疾患 * 健康管理、認知症予防対策	(7)－②
	③認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	<講義> * 認知症の症状 ・ 中核症状 ・ 周辺症状 * 認知症の利用者への対応	(7)－③
	④家族への支援	<講義> * 家族の介護負担軽減 ・ レスパイトケア	(7)－④
(8)障害の理解 (3時間)	①障害の基礎的理解	<講義> * 障がいの概念と I C F * 障がい者福祉の基本理念 ・ ノーマライゼーション	(8)－①
	②障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	<講義> * 視覚障害 * 聴覚・平衡機能障害 * 音声・言語・咀嚼機能障害 * 肢体不自由 * 内部障害 * 障害の受容 * 知的障害 * 精神障害 * 高次機能障害 * 発達障害	(8)－②
	③家族の心理、かかわり支援の理解	<講義> * 家族の心理 ・ 障がい児・者の家族の心理 ・ 障害の受容 * 家族への支援	(8)－③
(9)こころとからだのしくみと生活支援技術 (75時間)	【ア 基本知識の学習 (10時間)】		
	①介護の基本的な考え方	<講義> * 理論と法的根拠に基づく介護 ・ 介護に関する専門的知識・技術の必要性 ・ 個別支援の重要性 ・ 介護に関わる法律上の規定や考え方 ・ 生活支援としての介護サービス	(9)－①
	②介護に関するこころのしくみの基礎的理解	<講義> * 学習と記憶の基礎知識 * 感情と意欲の基礎知識 * 自己概念と生きがい * 老化や障害を受け入れる適応行動をその阻害要因	(9)－②
③介護に関するからだのしくみの基礎的理解	<講義> * 人体の各部の名称と働きに関する基礎的知識 * 骨・関節・筋に関する基礎知識	(9)－③	

		<ul style="list-style-type: none"> <li>* 中枢神経系と末梢神経系に関する基礎知識</li> <li>* 自律神経と内部臓器に関する基礎知識</li> <li>* 心とからだを一体的にとらえる</li> </ul>	
<b>【イ 生活支援技術の講義・演習 (53 時間)】</b>			
④生活と家事	<p>&lt;講義&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 家事と生活の理解</li> <li>* 家事援助に関する基礎的知識と生活支援</li> </ul> <p>&lt;演習&gt;</p> <p>グループ討議＝具体的事例を通して家事援助を考える グループ演習＝ベッドメイキング</p>		(9)－④
⑤快適な居住環境整備と介護	<p>&lt;講義&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 快適な居住環境に関する基礎知識</li> <li>* 高齢者・障がい者特有の居住環境整備と福祉用具に関する留意点と支援方法</li> </ul> <p>&lt;演習&gt;</p> <p>福祉用具現物を触る・体験することでより理解を深める。</p>		(9)－⑤
⑥整容に関連した心とからだのしくみと自立に向けた介護	<p>&lt;講義&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 整容に関する基礎知識</li> <li>* 整容の支援技術</li> </ul> <p>&lt;演習&gt;</p> <p>グループにわかれ、整容行為（着脱衣技術等）の実践</p>		(9)－⑥
⑦移動・移乗に関連した心とからだのしくみと自立に向けた介護	<p>&lt;講義&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 移動・移乗に関する基礎知識 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 廃用性症候群</li> <li>・ ボディメカニクス（8つの基本原則）</li> </ul> </li> <li>* さまざまな移乗・移動に関する用具とその活用方法</li> <li>* 介護職員にとって負担の少ない移動・移乗の支援方法</li> <li>* 移動と社会参加の留意点と支援</li> </ul> <p>&lt;演習&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* グループに分かれ、移乗介助・移動介助の実践 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 移乗 <ul style="list-style-type: none"> <li>ベッド上での体位変換</li> <li>車いすへの移乗の具体的な方法</li> <li>全介助でのベッド・車いすへの移乗</li> <li>全介助での車いす・トイレ間の移乗</li> </ul> </li> <li>・ 移動 <ul style="list-style-type: none"> <li>車いす</li> <li>肢体不自由者の歩行介助</li> <li>視覚障がい者の歩行介助</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> <p>&lt;教材&gt; DVD</p>		(9)－⑦
⑧食事に関連した心とからだのしくみと自立に向けた介護	<p>&lt;講義&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 食事に関する基礎知識</li> <li>* 食事環境の整備・食事に関連した用具・食器の活用方法と食事形態とからだのしくみ</li> <li>* 楽しい食事を阻害する心とからだの要因の理解と支援方法</li> <li>* 食事と社会参加の留意点と支援</li> </ul>		(9)－⑧

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事をする意味</li> <li>・食事のケアに対する介護者の意識</li> <li>・食事の姿勢、咀嚼、嚥下のメカニズム</li> <li>・食事の環境整備</li> <li>・食事に関する福祉用具の活用と介助方法</li> <li>・誤嚥性肺炎の予防</li> <li>・口腔ケアの定義</li> </ul> <p>&lt;教材&gt; DVD</p> <p>&lt;演習&gt; グループに分かれて食事介助・口腔ケアの実践</p>	
⑨入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	<p>&lt;講義&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*入浴、清潔保持に関する基礎知識</li> <li>*さまざまな入浴用具と整容用具の活用方法</li> <li>*さまざまな入浴・清潔を保つための方法</li> <li>*楽しい入浴を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>・入浴清潔保持の必要性</li> <li>・環境、羞恥心、プライバシーへの配慮</li> <li>・用具の活用、物品の取り扱い</li> <li>・目、耳、鼻腔、爪の清潔方法</li> </ul> </li> </ul> <p>&lt;教材&gt; DVD</p> <p>&lt;演習&gt; グループ分かれて臥床での清潔保持の実践（入浴・洗髪・手浴・足浴等）</p>	(9)－⑨	
⑩排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	<p>&lt;講義&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*排泄に関する基礎知識</li> <li>*さまざまな排泄環境と排泄用具の活用方法</li> <li>*爽快な排泄を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>・排泄とは</li> <li>・身体面（生理面）、心理面、社会的での意味</li> <li>・プライド、羞恥心・プライバシーへの配慮</li> <li>・排泄障害が日常生活に及ぼす影響</li> <li>・排泄ケアを受けることで生じる心理的負担、尊厳や生きる意欲との関連</li> <li>・便秘の予防</li> <li>・おむつは最終手段</li> </ul> </li> </ul> <p>&lt;演習&gt; グループに分かれて、排泄介助の実践。陰部洗浄</p>	(9)－⑩	
⑪睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	<p>&lt;講義&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*睡眠に関する基礎知識</li> <li>*さまざまな睡眠環境と用具の活用方法</li> <li>*快い睡眠を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>・安眠のための介護の工夫</li> <li>・環境の整備（温度や湿度等）</li> <li>・安楽な姿勢</li> <li>・褥瘡予防</li> </ul> </li> </ul>	(9)－⑪	

	⑫死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護	<p>&lt;講義&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 終末期に関する基礎知識とところとからだのしくみ</li> <li>* 死に向き合うところとからだの理解</li> <li>* 苦痛の少ない死への支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 終末期ケアとは</li> <li>・ 高齢者が死に至るプロセス</li> <li>・ 看取りにおける介護職員の基本的態度</li> <li>・ 多職種間の情報共有の必要性</li> </ul> </li> </ul>	(9)－⑫
	【ウ 生活支援技術演習 (12 時間)】在宅サービス提供現場見学にかえることが出来る		
	⑬介護過程の基礎的理解	<p>&lt;見学施設の講義・演習&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 介護課程の展開</li> <li>* 介護課程の基礎的理解</li> <li>* 事例の提示によるグループディスカッション</li> </ul>	(9)－⑬
	⑭総合生活支援技術演習	<p>&lt;見学及び演習&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 事例による展開 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2 事例</li> </ul> </li> <li>* グループに分かれ生活支援技術の実施</li> <li>* 支援の課題</li> </ul>	(9)－⑭
(10)振り返り (4 時間)	①振り返り	<p>&lt;講義&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 根拠に基づく介護についての要点 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者の自立を支援する介護のあり方</li> <li>・ 利用者の状態像に応じた介護と介護課程</li> <li>・ 身体、心理、社会面を総合的に理解するための知識の重要性</li> <li>・ チームアプローチの重要性</li> </ul> </li> </ul> <p>&lt;演習&gt;</p> <p>振り返りのレポート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 初任者研修を通して学んだこと</li> <li>・ 介護職員として今後継続して学ぶべきこと</li> </ul>	(10)－①
	②就業への備えと研修終了後における継続的な研修	<p>&lt;講義&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 継続的に学ぶこと</li> <li>* 研修終了後における継続的な研修について、具体的にイメージできるような事例の紹介</li> </ul>	(10)－②